

入学時期:	4月生	学科:	教養重点科	コース:	1年	クラス	A
科目名:	適性					年次:	-
担当者:		単位:	1単位	授業時間:	15時間		

■授業概要・方法等

適性の授業では、主に国家一般職高卒程度、税務職員、一部の地方自治体の公務員試験で課される適性試験の練習を行う。適性試験は、公務員となって事務を執り行うのに必要な能力を測る試験であり、得点化を行う試験科目では、最低限必要となる「基準点」が設定されている場合もある。

本科目は、市販のテキストを用い、1回の授業で「計算練習+1検査」に20分程度、1週間に3回の頻度で反復して練習を行うことで、検査に応じた取り組み方、作業のやり方を身につけることが出来る。

また、学生は個人の記録シートに得点や終了時間を記録することで、自身の成長を知ることができ、さらなる成長への動機づけにも繋げる。

■学習・教育目標及び到達目標

公務員試験の適性試験において「基準点」の目安となる満点の30%をとれるようになる。

■成績評価方法および基準

- ・ 出席状況・・・ 40% ※記録シートへの得点記録に基づき評価。
- ・ 校内模試・・・ 60% ※校内模試の適性試験における最高得点を60点満点に換算して評価。

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

『実務教育出版 2020年度 適性試験問題集』(実務教育出版)

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【 適性 】

時期:4月～8月

『実務教育出版 2020年度 適性試験問題集』を用いて、計算・分類・照合・置換・図形把握の各問題について演習する。

時数	内容
1 ～ 15	○ 1週間に3回程度、1回20分×45回 「計算演習+1検査」

■履修にあたっての注意事項

■その他